

1.当日の参加者

幼稚園・保育園 3名 小学校 44名 中学校 14名
 高等学校 1名 特別支援学校 26名 市町村教育事務所・教育委員会 4名
 保護者 1名 児童デイ・その他 22名 分科会関係者 53名
 役員・来賓 11名 事務局校職員 103名

2.公開授業の感想等 アンケート

【授業の感想等】

「幼稚部」

- ・ 感触遊びがメインの中、子どもとのやりとりを意識しているのがよくわかりました。子どもの言葉や発見・発想を言語化し、つなげる意図があるのかな、と感じました。
- ・ 本時の目標①③を達成できていました。
- ・ 幼児の遊びが、発展していく様子が勉強になりました。また、遊びが発展していくきっかけを、先生が見逃さず、声かけのタイミングも良かったです。遊びが発展するような、誘導も的確でした。
- ・ 生活していく上で、幼児にとって必要な言葉を、今回の感触遊びの中で、自然に習得できるように、意図的な声かけがたくさんあり、非常に勉強になりました。先生お2人の言葉や対応が終始丁寧でした。また、お2人の人柄や相性も良く、役割が交替していく様子もスムーズでした。今日は見学させていただき、ありがとうございました。

「小2 図工 つくってあそぼう」

- ・ 子どもたちも、落ち着いて活動していて、楽しく授業していて、羨ましかったです。

「小3 図工 きって、ぬって、はって」

- ・ 子どもたちが自分でテープを貼り付ける場所を見つけて、作品にして行く様子が素敵でした。自身の身体でテープの性質を感じて作品に活かすのは面白いと感じました。

「小5 国語 目指せ名人～正しい文に直してみよう～」

- ・ たくさん参考になる点がありました。助詞の使い分けという難しい課題でしたが、イラスト、具体物、動作など活用していてわかりやすかったです。段階的に、また個別に課題を与えクリアできるような支援、できたことを可視化しているところなど。文章で、先生がハンマーで先生をたたく という例文は適切ではないかと思いました。子ども達が先生の指示をしっかりと理解して、最後まで座って授業に参加していてすばらしかったです。
- ・ フライパンやハンマー等、絵や写真だけでなく、具体物も準備されており、学習に入りやすそうだなと思った。板書ではなく、進んだり戻ったりが容易にできるパワポが主で、子どもたちが待つ時間がなくてすむと思った。
- ・ 子どもたちの特性に応じて、先生方の支援サポートをしたり、ICTを使った教材作成もすごいなと感じました。本日は、授業参観させていただき、ありがとうございました。
- ・ 助詞の学習では、子どもたちにイメージ持たせやすいように身近な写真を活用して言葉を引き出して、凄いなと感じました。
- ・ 私は、公立小学校の知的支援学級担任なのですが、指導案も授業もこれからの授業作りにととても参考になりました。導入のアニマル体操は、緊張をほぐしつつ、発声の促しにもなっていて、良かったので、取り入れてみたいと思いました。イラストとマッチングした文作り(助詞選び)では、文も面白く、実態の違う子ども達一人ひとりが、授業の中で、それぞれの個人目標を達成できるように、よく考えられていると思いました。子どもたちの気持ちの安定も考えながら教科学習の定着も図っていけるよう、私も頑張ろう！と思える授業でした。ありがとうございました。

「小6 角度についてしよう」

- ・ 小3段階の授業でしたね。

「わかったこと」を子どもたちと共有していましたが、少し難しかったかなあと感じました。角度とは平面上の点から伸びる2本の半直線が作る角の大きさのことだと思います。それを扇で提示していましたが、ちょっと難しいのかなと感じました。単純に急な坂道を作ってみよう。ぐらいいももっともっと身体を使って実感できるような取り組みが必要なのかなあ。

- ・ 授業者の先生が子供たちを共感的に理解し受容しているところがよく伝わりました。動きを通して「大きい」「小さい」「速い」「ゆっくり」「角」を理解させようとしているところも参考になります。ブロックやボールを使って角の大きさを理解させようという手立ても子供の関心を引き付けるのに良いと感じました。

「角が大きくなると（ボールは）速くなる」というところについて、以下2点考えました。

①ボールの落下速度が速くなるのか、それとも転がった先の床のある地点まで早く着くのか、遠くまで転がるのか、どちらをさしているのかが不明瞭？

②上記と関連して、「ボールの落下速度が速くなるのか」であれば、目視では判断がつきにくい、また、「転がった先の床のある地点まで早く着くのか」であれば、角が大きくなればなるほど早くなるのではない（角が大きすぎると床に着いた衝撃で遅くなる）。後者と同様に角が大きすぎると遠くまで転がらなくなる。

とても学びのある授業参観となりました。ありがとうございました。

「高IB美術模写」

・有名な美術作品に触れる良い教材だと思いました。

【公開授業全体へのご感想】

- ・各学年の授業の様子を観ることができ、とても良かったです。
- ・生徒が集中して授業に取り組んでいる様子がとても良かったです。TVが移動式なので、各教室に設置する必要があると感じました。
- ・発達段階に応じて、授業態度がしっかり指導されていて、継続した指導を徹底することの体制さを改めて感じました。ありがとうございました。
- ・廊下などに掲示されてる、作品や掲示物にたくさんアイデアをいただきました。そしてたくさんの先生方が、特別支援に関わっていることにも感動しました。本日は、貴重な時間をありがとうございました。
- ・児童の実態に合わせて言葉掛けや支援を行っていたり、教員同士が連携を図って活動を行っていたりして、改めて特別支援教育の素晴らしさを感じました。
- ・多くの教科の授業があり、指導案等とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・全校種、全学年の公開授業（指導案まで）を行う本気度がすごいと思いました。小中学校の教員にとってはとても良い学びの機会となりました。ただただ感謝です。教材研究や指導法については、小中学校とも通ずると思うので今後合同で教材研究、授業後の研究会もやれると良いと思いました。ありがとうございました。

3.研究大会アンケート結果

(1) 概要

期間：令和5年12月15日（金）～12月22日（金）

方法：Microsoft Formsで収集（匿名にて処理）

対象：研究大会参加者 各位

(2) 満足度

4.30 / 5

(3) 研究大会についてご質問・ご感想・ご意見等

- ・初めて参加しました。たくさん目から鱗状態でした。指導案が細かく丁寧で素晴らしかったです。講演会で、紹介のあった、ロイロノートが魅力的だった。沖縄県も取り入れてほしいです。
- ・今年、初めて特別支援学級を担任しております。今回初めて特支研に参加させてもらいました。小学部の参観は、掲示物や授業内容などとても勉強になりました。1年生～6年生まで系統性のある授業内容であり、工夫や個別に特化した内容でした。休み時間には担任の先生から色々な話を聞けたりと先生方もお話ししやすく色々な勉強ができました。三浦先生の講話も実践内容があったり、合わせた教科の内容もとてもわかりやすかったです。分科会の動画配信もとてもいいです。今日までの取り組みお疲れ様でした。また今後の取り組みやご活躍を応援しています。ありがとうございました。
- ・4、5年前に合わせた授業ってどんなものだろう。と疑問がありその時に学び直しをしたが知的特別支援学級から離れ今日の講演を聞いて教科別の授業を取り入れていることを知り自分の勉強不足を強く感じた。これを機にまた学び直していきたい。
- ・自立活動の内容、活動方法、支援学校の授業内容がよくわかりました。
- ・特別支援学校での様子を初めてみるのができ、とてもいい経験になりました。
- ・公開授業では先生方の取り組みが見れて、参考になりました。分科会も楽しかったです。ありがとうございました。
- ・学びの多い研究大会でした。参加して良かったと満足しています。今後、勤務校でも支援学級が新設されるのだが、私自身、これまで支援学級に関わったことがなく、「自立活動」に関する知識が全く

なかったので、今回得た学びは今後の教職に活かして行きたいと思います。

・特別支援学級を担当していますが、教科をすべて教えないといけないとは知りませんでした。定着しない、理解できないからさせないではなく、体験としてさせてみる、生きて行く中で定着していくということが、すごく納得できました。どこまでさせるか迷うところですが、全く触れないという単元がないようにしていきたいと思いました。

・大変学びになりました。支援学級を受け持っていますが、知的障害のある児童にとってどのような指導や授業づくりがいいのか日々悩んでいました。その悩みへの糸口が見えたような気がします。ありがとうございました。

・三浦先生の講義が、とても勉強になりました。日々、子どもたちのために、これからも努力していきたいです。本日は、貴重な講演をありがとうございました。

・山形県の学校が合わせた指導を行う理由が知りたいです。

・講演会の内容が大変勉強になりました。ありがとうございました。

・指導助言の中であやはし小学校の陽子先生の実践で突っ込みどころがたくさんと仰っていたのが気になりました。良い意味なのか悪い意味なのかはわかりませんが、どの部分が突っ込みたかったのか知りたかったです。陽子先生本人も大学院で研究している最中で、気になったと思うので是非教えてほしいです。

・記録係として参加したが、名護特別支援学校の授業の様子を見ることができて本当に勉強になりました。また研究会では島尻特別支援学校、あやはし小学校の授業実践報告を見ることができて貴重な体験をさせて頂きました。勤めている学校でも研修内容を報告し、今後活用していけたらと思いました。本日はありがとうございました。

・分科会では、県の政策や実践事例が聞けて良かったです！学期末、お忙しいときだったと思いますが、授業や調整などありがとうございました！

・初めて特別支援学校を参観して雰囲気や子ども達の様子が見れて良かったです。

特別支援の経験が浅く、子どもの進路などをコーディネートする為にも学びたいと思って今回の研修に参加して、難しい内容もありましたが、多くの学びがありました。

・支援学校の子どもの学習の様子や、先生方の関わり方など、とてもステキだなあと感じました。落ち着いた環境で学習することや、一人一人の状況に応じた対応をすることの大切さを改めて実感しました。まだまだ勉強していくことがあるなあと感じました。

・これまで支援学校の授業のイメージは、大半が「合わせた授業」というのが有りましたが公開授業で見たものは国語や図工など明確な目標があり、個別の支援計画のもと指導されているのが感じられました。子ども一人一人が本当に大切にされていると感じました。記念講演での講話された三浦光哉先生のお話でも指摘されていた特別支援学校であれ、通常学校であれ指導要領に示されている目標に向かい将来に子どもたちが身につけるべき必要な力をつける事ということを改めて強く意識させられました。今日受けた刺激を現任校でもシェアしたいと思います。すべての関係者の皆様に心から感謝いたします。

・たくさんの小中学校の先生が参加してくれて良かったです。

・ICT 機器を上手く活用してどの実態の生徒でも自己決定できるような授業作りをしたいと感じた。はじめは難しくても継続していけばできるようになると感じたので、モチベーションを保って継続していけるように少し変化を加えながら活動を行うことで成功体験を経験させて生徒の自己肯定感を高めていきたいと思いました。

・午後の講演会と分科会へ参加しました。三浦先生のお話の中で知的障害を持つ子どもたちの将来を見据えた授業づくりの視点について学びを深めることができました。順序性や系統性をふまえた教科指導、どう学ばせるか自己選択・自己決定、児童の実態に応じたカリキュラムマネジメント・自分の実践と照らして反省や課題も含めてこれからの授業づくりに活かしていくヒントがたくさんありました。第一分科会の実践発表は、その具現化をいかにみんなで共有していくかと言う点ですごく示唆に富んだ内容でした。一人一人が人生を豊かに楽しく生きていく共生社会の実現に向けて私も子どもたちと一緒に考え、いろいろなことにチャレンジし学びをつくっていききたいなど前向きな気持ちになりました。参加してよかったです。ありがとうございました😊

・先生方がとても丁寧に子ども達に接していたのがとても印象的でした。先生方の連携の仕方も素敵だなと思いました。子ども達も緊張しながらもしっかりと学んでいました。貴重な時間をありがとうございました。

・子ども達の、学校での様子を見ることができ、頑張る姿に驚きと感動がありました！ありがとうございました。

・公開授業、記念講演、分科会それぞれにたくさんの気づきと学びがありました。このような機会を提供していただき、ありがとうございました。また、事務局はじめ運営にあられた名護特支の皆様、お疲れ様でした。

・名護特支、八重山特支の校長がそれぞれ個性的でよかった。管理職対策の参考にします。公開授業もよい授業だったのですが、他者を人格として尊重し、対人関係の距離の教育として「～さん」づけはすべての県立学校で徹底して欲しいです。特別支援学級の担当者が、間違った「学び」をしかねません。お疲れさまでした。

・県教委に直接、予算についての要望を伝える機会になって良かった。P会長の意見が後押しになれば良いと思う。

・今後の沖縄県の特別支援教育の方向性や展望などを、教育課や教育センター主事の方から解説してもらいたかった。

理由としては、

①今後、三浦先生の実績を準えていこうとしているのか、

②または、沖縄県独自の具体的な方針があるのか、あるとしたら、あまり教育現場に伝わっていない印象がある。

①への流れが、今後県内の特別支援学校で行われるのであれば、沖縄県の特長(財政、現状、課題)に応じて特別支援学校におろしていただきたいです。

実際の教育現場が、管理者のさじ加減で混乱、困惑などをしているという事実も理解してほしいです。

運営していただいた職員の皆様、お疲れ様でした。

追伸:体育館のシートを敷く手間を省くために、傷防止がついたパイプ椅子をおすすめします。

・とても充実していて、支援学校の授業の様子を観ただけでもとても良かったです。

・特別支援学校や中学校での工夫した取り組み、動画もあって分かりやすかったです。今日学んだことを日々に活かしていきたいです。

・運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

・授業も講演会も分科会もとても学びがありました。私は、第1分科会に参加しましたが、彩橋小の鈴木先生の授業実践のお話にとっても感動しました。三浦先生の講演の中でもありましたが、知的障害があっても、社会の中で活躍できる人材となっていく子供を支援できる自分でありたいと思いました。参加してとても良かったです。

・分科会で普段関わる機会の少ない小学校の先生の報告を聞く機会はとても貴重でした。第一分科会の彩橋小鈴木先生のお話は本当に勉強になりました。

・今回、研究大会の提案者として参加しました。発表の時にも少しふれましたが、地区の研究会も入れ替りが激しく、運営も厳しい状況で提案者、分科会の役員を決めるのに苦労しました。特別支援学級は該当する生徒の数で学級数が決まり、増減が激しいので、教師も臨時、補充が多いです。また、専科外の教師の集まりなので、手探りの状態で始めていきます。1年担当して、自分の専科に戻っていく、担当する生徒がいなく、特別支援から外れる教師も結構います。これから先、研究を進めること、提案者の選出が難しくなると危惧しています。

・中学校では、支援学級の担任は主要5教科の教諭でない場合が多いので、支援学級でそれらの教科全てを指導する事は難しい。それを可能にする方法があれば、教えてほしい。

・初めて参加しました。自立活動について考えを改めるよい機会になりました。我が子が支援学校にお世話になっていることもあり、保護者として、教員として、これからさらに勉強したいと思いました。ありがとうございました。

・お疲れ様でした。充実したプログラム、ありがとうございました！名護特支さんの雰囲気の良い感じなのが、伝わりました。受付、9時15分に対し、公開授業が9時50分開始で、間が長すぎかなと感じました。

・全校種、全学年の授業公開(指導案まで)していただきありがとうございました。小学校で教員をしていた者としては、特別支援学校の様子を参観できとても学びの多い時間となりました。

三浦先生の話も大変興味深く拝聴しました。名古屋市の例のように外部の人がアドバイザーとして入ることによって忖度なく意見をもらえ、改革につながりやすいのだなと思いました。人選には大変かもしれませんが。

分科会の資料が各2ページ程で完結にまとめられていて、またプレゼンもあったので、さほどムリなく理解することができました。良い分量、時間配分でした。資料の事前配信もありがとうございました。

各分科会、どれも興味深くとても迷いました。分科会の様子を後日オンデマンドで配信していただけたらとのことで、提案者や指導助言者、運営の先生方においては大変かと思いますが感謝いたします。このような会を運営していると、フォームでのアンケートの回収率の低さが気になるところです。お節介かもしれませんが「アンケートに協力してくださった方へオンデマンド配信します」というように特典があると回収率が上がるのかなと思いました。意地悪かもしれませんが。

貴重な学びの機会をありがとうございました。

・2人の学校の先生が実践報告をしていましたが、それぞれテーマに即した実践を積み重ねられており、大変勉強になりました。報告された先生方、お疲れさまでした。

・分科会が多すぎる。昼食時間から全体会までの時間は担当校にとっては時間が短すぎる。食事すら取れない職員も多かったです。授業中の放送も行き過ぎているように思う。各学校成績処理や学期末業務がある時期にこの大会が開かれることにも疑問を感じる。任意団体の行事が公務化していることにも違和感を覚える。

・放課後等デイサービスです。学校での様子や先生方の支援の仕方、関わり方等とても参考になりました。お声掛けいただきありがとうございました。

・講演会では、合わせた指導、教科別の指導について、お話を聴くことができたのがとてもよかったです。支援学級担任として、知っておくべきことばかりで、大変勉強になりました。分科会での支援学校、通常学級の取り組みや実践が素晴らしいと思いました。授業のヒントも頂きました。ありがとうございます。研究大会参加できてよかったです。ありがとうございました。

・運営お疲れ様さんでした。

・記念講演で三浦先生からご講演いただいた内容が大変分かりやすかった。教科指導や合わせた指導の違いについても良くわかった。また、名古屋市立若宮商業高等学校にてできる併設の高等支援学校のシステムについて大変興味があります。

・幼稚部公開授業を参観させて頂きました。参考にしたいことがいくつもありました。記念講演及び分科会も含め充実した研究大会に参加できて良かったです。又、敷地内の見学もさせて頂き大満足です。

・本研究大会に初めて参加させて頂きました。特別支援学校のこと、合わせた指導と教科別指導のこと…など、とても多くのことを学ぶことができました。

公開授業では、6年生の算数で角の大きさとボールの転がる速さを子どもたちが楽しそうに試していて、とても面白い実践だと思いました。先生も「大きさ」「高さ」などの言葉を確認し大切にしながら授業を進めていてよかったです。ちょうど小学校3年生の私のクラスで角の大きさを学習したばかりなので、私が通常の学級での授業するときなら…と比べながら考えることもできました。最後のブロック(?)を縦置きするところは、通常の学級であれば一人が思い浮かばなければ「じゃあ、隣の人と相談しよう」「グループで考えてみて」という流れで協働学習や他者との関係づくり、コミュニケーションの機会にするかもしれません。特別支援学校の児童の実態によると思うので一概には言えませんが…参考までに。この公開授業を通して、体験を通して学ぶことの大切さも改めて実感しました。授業づくりや指導案の準備など大変だったと思います。先生方、授業を参観させて頂きありがとうございました。

分科会では特別支援学校の実践発表を聞くことができました。普段なかなか見たり聞いたりする機会がないので、貴重な経験でした。特別支援学校のこと等、お話を聞いていてもまだ分からないことがたくさんありました。今後もこのような機会に学ばせていただければと思います。

最後に、今回私は通常の学級からの参加でしたが、特別支援学校・特別支援学級の先生方の学びに参加させて頂き感謝しています。特別な支援を必要とする子どもたちは、多様な学びの場で学んでいて、今後は通常の学級でももっと特別支援教育から学んでいくべきことがたくさんあると考えています。通常の学級からの参加も増えるといいな、そしてすべての学びの場の先生方が共に学ぶ機会となればいいなと考えました。名護特別支援学校の先生方、運営等も本当にお疲れさまでした。どうもありがとうございました。

・先生方の頑張られている様子が分かって良かった。

・初めて研究大会に参加させて頂きましたが、たくさん学ぶことができました。教室環境や授業の進め方、子どもとの関わり方、講演、分科会発表と、盛りだくさんで充実していました。大会スケジュールで、もう少し遅い時間のスタートでも良かったのかと思います。学校見学の時間がもったいないと思いました。授業参観やその前から校内見学を並行して行うことができました。これまでの準備、当日運営とおつかれさまでした。ありがとうございました。

・石垣第二中学校の取り組みは特別支援学校以上に素晴らしいものでした。ぜひ、今回の提案・指導助言等を参考にしたいところを取り入れていきたいと感じました。また三浦先生の記念講演も、何度も拝聴しておりますが、今自分ができていること、まだまだなところを再確認出来て、とても有意義な時間を過ごすことができました。担当・係の先生がた、ありがとうございました。

・大会運営お疲れ様でした。記念講演も聞けてとてもよかったです。質疑応答にて、結局予算ありきと改めて確認できました。このような講演は学校単位だけでなく沖縄県にも聞いてもらい、効率的な予算の配分を考えてもらいたいと思いました。

・研究大会の企画・運営大変お疲れ様でした。公開授業も含め、特別支援教育を学ぶとても良い機会となりました。ありがとうございます。

・中学校からの分科会の発表は、厳しいです。特別支援学級担任は半数が臨任で、しかも1~2年目と経験が浅く、一部の担任の負担となっています。また、研究を行っている担任の学校が複数にまたがるため、時間外労働となっている現状が見られます。担任によっては、支援学級以外に、通常学級の教科を指導している方もおり、発表者を決めることが厳しいです。発表者が決まっても、各学校の現状から、続けて支援学級を受け持つことができず、発表者を変更することもあります。九州大会等の関係もあるかもしれませんが、分科会の数を減らし、役割を減らすなどをして、働き方改革を検討してはいただけませんか。とても負担に感じています。

・名護特別支援学校の職員の皆さん、大会運営や公開授業、本当にありがとうございました。

本校の職員ももっと参加して欲しいと思える研究大会でした。参加しやすくするためには、オンラインも検討してはどうでしょうか。そうすることで、児童生徒下校後参加できる職員もいると思います。※事務局の仕事を増やしてしまう意見でごめんなさい。

・記念講演は、今後の参考となる内容でした。分科会は、交流及び共同学習の視点での実践事例が参考になりました。

・教科別の指導、合わせた指導について、それぞれ、生徒の実態に応じた指導（支援）が大切であることを再認識できた。しかし、インクルーシブ教育については、まだまだこれから具体的に何がどう変わっていくのか、もっと踏み込んだ考え方や方向性を示してほしい。

・私は、今回初めて沖特研に参加させていただいたので、全てが新鮮で新たな発見も多く、実りのあるものとなりました。特に三浦先生の講演は、大変に勉強になりました。ありがとうございました。また、運営スタッフの皆様もありがとうございました。

・大会運営お疲れ様でした。特別支援学校の先生方の子ども達とのふれあい、とても勉強になりました。

・特別支援教育の新しい情報を学ぶ事ができよかったです。今後、評価方法についての研修等があれば参加したいです。知的障がい→県立高校受験希望生徒の授業の取り組み方や数値による評価の仕方など。情緒障がい→通常学級の授業へ参加できず、特別支援学級で5教科の授業と評価についてなど。5教科の教科担任や、特別支援学級担任の専門教科を持つ職員で情緒学級の5教科の授業を行なったりしていますが、学校の状況によっては協力が得られない場合もあります。今回、実践発表を行なった、西原中学校の情緒学級も担任がほぼ見えています、中学校は教科担任制なので授業と評価に限界があると思います。工夫の仕方などを知りたいです。

・公開授業の指導案・実際の授業、記念講演、分科会の司会進行や各提案、質疑応答(協議)、全てにおいてこれまでの研究大会にない大盛況ぶりです。素晴らしいと思います。コロナ禍の対処手段としてオンラインが充実した前回の研究大会にも目を見張ったものですが、やはり、対面によって間近で五感で受ける刺激には敵わないなあと。事務局や会長の参集型開催決断に感謝です。しかしながら、離島から参加すると、旅費やかかる時間、体力の消耗などの負担感が想像していたよりかなり大きいのしかかっています。次年度以降の検討課題として、是非、“ハイブリッド型”開催をお考えいただくと嬉しいです。開催側も参加者もウェルビーイングで持続可能な沖特研をめざして、ご検討方よろしくをお願いします。

・石垣第二中学校の実践発表がとても参考になりました。

・記念講演では名古屋市の先進的な取り組みや内容を聞くことができた。名護特支の先生方お疲れ様でした。

・久しぶりに特支の授業を見ることができて大変勉強になりました。学校の雰囲気も良く生徒にも癒やされました。小学部5年生の「目指せ名人～正しい分に直してみよう～」の授業内容、とても良かったです。早速本校の生徒にも試してみたいと思いました。

・名護特別支援学校の先生方が連携していた取り組みに感動しました。準備や対応など1つ1つ丁寧に準備・実施されていて、少ない職員数で素晴らしいなと思いました。参加できて良かったです。本当にお疲れ様でした。

・初めて沖特研研究大会に参加しました。公開授業の教科指導、記念講演、分科会、とても学びの多い大会でした。特に記念講演は指導要領に沿った新しい特別支援教育のあり方や教科指導、自立活動についての説明、大変勉強になりました。中学校における知的学級の教科指導をより詳しく知りたいと思いました。ありがとうございました。

・講演会が自慢話に聞こえた。

・初めての参加だったが、記念講演、分科会共にとても有意義なものになったし、今後の指導に生かせるものは取り入れていきたいと思った。また機会があったら参加したい。

・運営等お疲れさまでした。当日に至るまでの丁寧な運営の仕方に驚きました。小規模校で人員が限られる中大変だったと思いますが、本当にお疲れさまでした。

ただ、これは沖特研の在り方に関わることですが、これだけの研究大会の運営の負担は、今後の働き方改革の視点から見ると改善するところがたくさんあると思います。これは運営する名護特支の先生方への意見ではありません。名護特支の先生方は事務局としての仕事を完璧にこなしたと思います。それとは別に、沖特研の在り方、必要性が問われていると思います。県内外問わず teams や SNS で情報共有したり、オンライン研修が当然となったいま、沖特研の目的にある「特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児・児童・生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与する」を達成するためにこの運営の仕方は大変ではないでしょうか。今後、「評議員会や研修を無くして（もっと簡素化して）、研究大会のみにする」など色々提案させていただきます。

・大変勉強になる大会でした。現在、特に、自立活動や道徳について悩み、もっともっと研究・研修が必要だと考え、勉強中ですが、実際問題、先生方の理解や熱量にも差があり、全職員ベクトルで・・とか なかなか難しい状況がありました。ですが、名護特支の先生方のすばらしい実践にたくさんのヒントがあり、三浦先生のご講演、分科会での指導助言が大変励みになりました。大きな研究大会の準備等大変ありがとうございました。とてもすばらしい時間が持てたことに、感謝致します。アンケートへの回答が遅れてしまい、すみませんでした。